土曜日の初心者研修会

令和元年 12 月 14 日

大和田囲碁同好会は初心者や子ども達への碁の普及に力を注いでいます。会場はいつも大和田市民センターです。

活動の特徴は高段者が手解きしていることです。会長である鈴木浩治六段、池田正三六段、矢島良宏四段、そして成田が毎週土曜日の午前中、初級から 10 級までの市民を指導しています。その内訳は女性２名、男性３名。毎週欠かさず参加されています。

12 月 14 日の研修を紹介します。まずは詰め碁と活き死の練習です。初手の大事さ、俗な手を避けること、捨て石を使って追い落とすことなどを学びます。急所を考えるのです。詰め碁は日本棋院から発行されているものを使います。あらかじめ池田氏がコピーをとり、参加者に渡します。それを持ち帰り家でも練習できます。

次ぎに布石の練習です。かす石と要石、手筋、三々の受け方、ツメの方向、弱い石の見極めと強化などを伝授されます。弱い石はときに捨てることも説明されます。弱い石を逃げ回るとろくなことがないのです。そして後半は対局です。指導者とは対話しながら良い手、悪い手などを学んでいきます。対局によって自分の知らない手や打ち方を学んでいくのです。(成田滋　記)